



全国連合退職校長会

会報



巻頭言

心の絆「知好楽」

副会長（東北地区） 木村 幸治

この夏の東京五輪で金メダルに輝いた卓球の伊藤美誠選手は「楽しんでできた」、体操の橋本大輝選手も「この場面を楽しもうと思っています」と話しています。アスリート達の「楽しんで」の発言に興味津々です。

わが国も昨年来、今年度もコロナ感染拡大で非常時の事態です。このような非常時における活動は発想の転換と会員との絆を深める必要があります。今、最大に困っていることは、会の原点であり教育の原点でもある会員との直接交流が感染防止上出来ないことです。会の重点事業の「研修と親睦」が中止です。教育に係わる研修会をセッとして会員や現職校長先生方と意見交換や、懇談を通してお互いの生きがいにすることができないのです。東北地区退職校長会協議会は年一回であり、学習・交流・親睦で絆が出来て楽しみで

す。令和二年度は岩手大会でしたがコロナで延期し、令和三年度もコロナで実施できず令和四年度実施の予定です。東北の仲間と顔の見える貴重な交流にしたいです。

昨年は教育改革の年と言われ、学習指導要領の改訂が行われ、小学校、今年度は中学校が全面实施です。ICTの効果的活用等新内容です。改訂のキーワードとされている「主体的対話的」は人間形成に極めて重要ですがコロナ禍で教師は児童生徒との直接の触れ合いや対話が制限され、またマスク着用で微妙な表情判断ができず苦労をしています。

岩手県公立学校退職校長会は、今までのコロナ知見を重視した感染対策をしながら会員の命を守り、コロナと積極的な共存を図っていきます。コロナ禍で会員との直接交流ができない代わ

りになる関わりとして現在発行している年四回の会報の他に、新規に会報の特集号を発行して会員との交流と連携を深めています。特集号は「東日本大震災十年を契機として児童生徒の命を守った校長等の判断並びにコロナ禍の校長の苦心、そして会員の生活の工夫等」です。岩手県や東北地区会は東日本大震災の教訓を大事にし被災地に寄り添い後世に伝えていきます。

金メダリストの「楽しんでできた」の言葉は、苦労して鍛えた練習の充実感からであり重みがあります。論語の「知好楽」を思い出しました。物事を深く知るためには、まずは「知る」ことが大事です。さらに深めるにはそれよりも「好き」になることが大事です。そして最も神髄を知り本物になるには「楽しんで」なすことです。この考えが魅力的で本会としては仕事を楽しみながら行うときつと会は楽しく、会員との心の絆になると思います。宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の詩は生きる励みになり心を支える気がします。

令和3年度の『要望書』を文部科学省に提出

8月6日に、全連退の川井仁事務局長が、文部科学省を訪問し、「要望書」を提出した。

今年も新型コロナウイルス感染拡大予防のため副会長会は中止になり、密を避けて川井事務局長1人による提出となった。

萩生田光一文部科学大臣への

『要望書』

我が国は今、人々の命と暮らしを守るため、新型コロナウイルス感染予防・ワクチン接種と社会・経済活動の再生が国民的課題であり、全国各地の学校・教職員は、教育活動のさまざまな制限・中止等の中で頑張っている子供たちの学習・生活の遅れや不安を取り戻し、全ての子供にきめ細かい指導を行き届かせようと取り組んでいます。

八万五千余名の総意として、左記事項を強く要望いたします。

一 子供一人一人の学びの保障に関する要望

一 児童生徒、教職員の新型コロナウイルス感染防止
各学校・園の教職員に対するワクチン接種体制を整備するとともに、換気・空調機器や透明遮蔽板等を完備し、「3密」解消の学習の場を確保すること。

二 児童生徒の学習・生活の遅れの補完

二 学校教育の質的転換

二 学校教育の再生・振興に関する要望

一 教育の機会均等と教育水準の維持・向上
義務教育制度の根幹を為す義務標準法、義務教育費国庫負担制度、教科書無償給与制度等を堅持するとともに、国庫負担率二分の一への早期復元を図ること。

三 今後の臨時休校等にかかる

二 学校における働き方改革の実現

学習の機会の確保

「GIGAスクール構想」の実現に向けて「一人一台」の学習端末機周辺のICT環境を整備するとともに、各家庭における「オンライン学習」に有効なデジタル教材や学習システムなどについての研究開発を進めること。

を実現するため、中学校も三十五人の少人数学級に引き下げること。

二 学校指導要領の基本理念

である「カリキュラム・マネジメント」や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等の教員研修の充実を図ること。

「チーム学校」を充実し、教員の長時間勤務の解消、勤務環境の適正化を図ること。

四 優秀な人材の確保、待遇の改善

(1) 人材確保法を堅持するとともに、教職の魅力の向上策や学校における働き方改革の取組の情報発信、スポーツ・芸術・学術等に実績のある社会人の登用に向けた取組促進など、教員志望者の裾野を広げ、適性のある優秀な人材確保の施策を講じること。

(2) 専門性と実践的指導力を兼ね備えた「教員養成課程」を創出するとともに、教員免許の取得・採用・研修体系の整備と免許制度（免許更新制度を含む）の改善を図ること。

(3) 教職員・校長等管理職の給与等に関する特別措置法等の改正、退職後の再任用・再雇用制度の整備・拡充を図ること。

(4) 退職校園長の有識者会議等への登用、春秋の叙勲者数の増加等の施策を講じること。

五 被災地域の復興・教育再生

未だ復興途上にある東日本大震災・原発事故をはじめ、全国各地で続発している地震・豪雨等の自然災害で被災された地域の復興・教育再生のため、迅速かつ強力に支援すること。

六 日本の教育の振興

現在、全国三十八都道府県、二百十四市区町村に制定されている「教育の日」を拡充し、国民ごぞつて教育の在り方を考え、教育の振興を期する国民の祝日として「教育の日」を制定すること。

《厚生労働省と総務省は、要望書を郵送した》

田村憲久厚生労働大臣への「要望書」

全国連合退職校長会は、「教育尊重の気運を高め、教育の振興に寄与するとともに、会員の

福利厚生への拡充に努める」ことを目的に活動しています。各都道府県退職校長会八万五千余名会員の総意として、左記事項を要望します。

一 高齢者が東京五輪後のレガシーを踏まえて、就労やボランティア活動などに意欲をもつて参加できる施策を充実させたい。

二 高齢者の生活の安定を図るため、デフレ経済下での「マクロ経済スライド」の実施は行わないことを要望する。

三 高齢者医療制度の見直しに当たり、健康保険料・介護保険料等の負担が過重にならないよう、高齢者の生活安定に配慮されたい。

四 長寿社会で働く高齢者の年金については、とくに六十歳前半の在職老齢年金の支給停止基準を緩和するよう配慮されたい。

五 全ての世代が将来にわたつて安心できる年金・医療・介護等の社会保障制度の改革に

取り組んでいただきたい。

武田良太総務大臣への「要望書」

全国連合退職校長会は、「教育尊重の気運を高め、教育の振興に寄与するとともに、会員の福利厚生への拡充に努める」ことを目的に活動しています。各都道府県退職校長会八万五千余名会員の総意として、左記事項を要望します。

一 共済年金と厚生年金の一元化に伴い、職域加算を保障する「年金払い退職給付」が実施されたが、今後も退職教職員的生活安定の施策を強く要望する。

二 長寿社会で働く高齢者の年金については、勤労意欲を損なわないよう在職老齢年金の支給停止基準を緩和するよう配慮されたい。

三 高齢者の生活安定を堅持するため、年金受給者への課税増等による税負担が過重にならないよう配慮されたい。

全国校園長会長より



次代を見据えて

全国国公立幼稚園・
こども園長会

会長 箕輪恵美

全国連合退職校長会の皆様には、日頃より本会の活動にご理解ご支援を賜り、感謝申し上げます。

世の中が急速に変化する中、学校教育も次の時代に向けて動き始めています。本年一月に公表された中央教育審議会の答申では、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を図る必要性が述べられています。「個別最適な学び」「協働的な学び」という視点は幼児期の教育でこれまで大

切にしてきたことと重なり、幼児期の教育と小学校以降の教育が今まで以上に同じ価値観でつながる可能性を感じます。答申を読み解き、各園の教育内容と照らし合わせるとともに、これからの時代にふさわしい幼児期の教育の創造に挑戦することを本会会員に呼び掛け、次代を見据えて取り組みます。

また、本年五月に文部科学省から示された「幼児教育スタートプラン」につきましては、「幼児期の教育の質の維持・向上を支えるものとなるよう、また、幼小の接続への正しい理解や好事例が全国に周知される内容となるよう、本会からも具体的な提案をし、幼児期の教育の発展に寄与する所存です。

本会は今後も公の教育機関として、全ての子どもたちに質の高い幼児期の教育を提供する役割を果たすべく歩み続けます。幼児期の教育の重要性をより多くの方にご理解いただくとともに、ICT環境の整備や優秀な人材確保等必要な条件整備が進むよう、全国連合退職校長会のお力添えをお願いいたします。

世界に誇る日本の

小学校教育を



全国連合小学校長会

会長 大字弘一郎

日頃より、全国連合退職校長会の皆様には、本会の活動にご理解ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

小学校では、「GIGAスクール構想」により整備された、一人一台端末と高速通信ネットワークを活用した教育活動が始まりました。

教員は、日々試行錯誤しながらも、今まで以上に目が輝いているように感じます。あるベテラン教員は、「校長先生、今までやりたくてもできなかった授業ができるようになりました。毎日楽しくて仕方ありません。」と話しかけてくれます。職員室では、あちらこちらで

若手とベテランがタブレットPCを挟んで、授業や家庭学習等でどのような活用ができるのかを熱心に話し合っています。

このような教員の姿を見てみると、これまでに日本の小学校教育が綿々と築き上げてきた良さと、新たなICT環境や先端技術を活用したこれからの教育が自然と融合していくのではないかと期待をもちています。世界に誇れる日本の学校教育を、私たちが再構築していかなければならないと意を強くしています。

その一方、各自自治体における「GIGAスクール構想」の推進状況には、すでに格差が生じています。全国どの地域で教育を受けても、一定の水準の教育が受けられることが大切であり、財政状況や考え方等によって子どもに不利益が生ずることは看過できることではありません。全国退職校長会におかれましても、小学校教育のより一層の充実のために、必要な条件整備が進むようにお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

全国校園長会の令和3年度の要望書

例年行われていた幼小中高特支の校園長会の代表の方と本部役員との懇談会が、新型コロナウイルス禍のため、今年も中止になりました。そこで、各校園長会の動向を知る一助にと文部科学省への要望書を掲載いたしました。紙面の都合により、各要望書の内容を大幅に省略いたしました。

全国公立幼稚園・こども園長会

1 幼児教育の質の向上のための条件整備について

幼児教育の無償化が、幼児教育の質の向上のため適切に運用され、次のことが実現できるようにお願いしたい。

○学級数に見合う正規職員の配置を図り、学級担任制を維持していただきたい。

○1学級30人以下とするなど適切な学級規模の在り方について検討されたい。

○幼児期から児童期への学びの連続性を確実にするため、小学校との人事交流や長期派遣研修の推進を図られたい。

○特別支援教育の充実を図り、多様性を認め合う共生社会の担い手を育てるため、特別な支援を要する幼児に関わる教育支援員の配置や外部専門家の活用の推進を図られたい。

○副園長・教頭、養護教諭、事務職員の配置を推進し、教職員の組織の充実を図られたい。

○学校評価、学校評議員制度、関係者評価の推進及び評価結果公表のためのホームページの開設や内容の充実に向けた環境整備を図られたい。

○幼児の安全を確保し、災害及び感染症発生時の危機管理を徹底するために必要な人員配置、耐震化工事の促進及び必要物品の配備を図られたい。

○幼児教育を専門とする指導主事の増員を図られたい。

2 幼児教育の質を高めるための保育者の資質と専門性の向上について

各園がそれぞれの地域の研究や研修の拠点となり、幼児教育の質を高めていくことができるよう、幼稚園教諭及び保育教諭

・保育士（以下「保育者」という）の資質と専門性の向上を図り、更に質の向上を支える人材を輩出していくために次のことをお願いしたい。

○保育者のライフステージに応じた研究・研修の充実及び定着を図られたい。

○保育者が安心して教育に専念できるよう、職責に応じた身分と処遇の維持・改善を図られたい。

○優秀な人材を確保するとともに、保育者がキャリアを蓄積でき、安心して働き続けることのできる勤務環境の改善を図られたい。

○国立公立幼稚園及び認定こども園、幼保一体化施設等（以下「幼稚園等」という）、様々な幼児教育・保育施設における3歳児から5歳児までの教育の充実のため条件整備を図

○研究助成費の一層の充実を図られたい。

3 希望する全ての幼児が充実した幼児教育を受けられるようにすることについて

希望する全ての幼児が充実した幼児教育を受けられるよう、次のことをお願いしたい。

○3年保育の全面実施を目指して、計画的な推進を図られたい。

○国立公立幼稚園及び認定こども園、幼保一体化施設等（以下「幼稚園等」という）、様々な幼児教育・保育施設における3歳児から5歳児までの教育の充実のため条件整備を図

○国立公立幼稚園及び認定こども園、幼保一体化施設等（以下「幼稚園等」という）、様々な幼児教育・保育施設における3歳児から5歳児までの教育の充実のため条件整備を図

らりたい。

○多様性を受け入れ共生社会の担い手を育てるために、バリアフリー化や看護師の配置、外国籍の幼児への支援等、特別な配慮が必要な幼児も含めて全ての幼児が充実した幼児教育を受けられるよう、環境整備を図らきたい。

4 多様なニーズに対応した弾力的な園運営の推進について

各園が地域における幼児期の教育の中核を担う役割を果たし、家庭や地域の教育力の再生・向上を図るため、次のことをお願いしたい。

○預かり保育の推進、親子登園や子育て相談、子育ての支援ネットワークの整備、スクールカウンセラーの配置等、子育ての支援機能の充実とそのための財政措置を図らきたい。

全国連合小学校長会

一 我が国の義務教育の質を高めるために、教育費の増額措

置を講じらきたい。

(一)教育先進国として教育費は未
来への投資であることを踏ま
え、公財政教育支出のGDP
比について、OECD諸国の
平均である五パーセントまで
引き上げられたい。

(二)全国どこでも全ての子どもが
一定水準の教育を受けられる
よう義務教育費国庫負担制度
を堅持し、国庫負担率二分の
一の復元を図られたい。

(三)優秀な人材を教育界に確保で
きるよう、人材確保法を堅持
し、教員給与の優遇措置を講
じるとともに、長時間勤務が
常態化している教員の実態を
踏まえ、学校における働き方
改革の観点からも給特法の改
正により教職調整額の引き上
げを図られたい。

(四)教科書無償配布を堅持された
い。

二 新型コロナウイルス感染症

止対策のための一層の整備を
講じられたい。

(一)感染拡大の状況に応じた児童
の健康を守る等の措置を実施
するためには、相応の教職員
や支援スタッフ、施設・物品
等が必要であり、加配教員の
増員等の人的及び物的支援の
拡充継続を図られたい。

(二)児童・保護者・教職員への心
のケア等及び新型コロナウイルス
感染症を起因とするいじ
め等への対応を充実するため
スクールカウンセラー及びス
クールソーシャルワーカーの
全校配置及び配置日数の拡大
を図られたい。

三 「GIGAスクール構想」
の推進のための一層の整備を
講じられたい。

(一)新型コロナウイルス感染症の
収束が見通せないことから、
各学校の「GIGAスクール
構想」におけるICT環境の
充実をさらに加速させると
ともに、地域や学校によって格
差が生じないよう整備を図ら
れたい。

(二)各学校の教員が、ICT機器
等を積極的に活用することで、
個別最適な学びと協働的な学
びを一体的に充実し、主体的
・対話的で深い学びの実現に
向けた授業改善を行うことが
できるよう、専門職員配置を
含めた人的配置による支援の
一層の充実を図られたい。

(三)子どもと向き合う時間を確保
し、教員自身の教職人生を豊
かにするため、「学校におけ
る働き方改革」をより一層推
進することができるよう、各
学校の業務効率化推進に向け
たICT環境等の整備・充実
を図られたい。

四 震災復興に関わる人的配置
の充実及び施設・設備・教材
等の迅速な整備を講じられた
い。

(一)教員の加配継続とともに、ス
クールカウンセラー及びスク
ールソーシャルワーカーの配
置など児童等に対するサポー
ト体制のより一層の強化を図

られたい。

られたい。

(二) 正常な教育活動が完全実施でき、なるべく早期に学校施設等の復旧を図りたい。

五 子どもと向き合う時間を確保するために、教員の定数改善や人的措置、諸条件の整備を講じられたい。

(一) 公立義務教育諸学校の教職員基礎定数をより一層改善するとともに、教員一人当たりの持ち授業時数の考え方を導入するなどにより、様々な教育課題解決のための教員定数を拡充し、教員の長時間勤務の実態の改善、活力ある学校づくりの一層の充実を図られたい。

(二) 外国語科の指導の充実に向け、専科教員の導入を推進されたい。

(三) 特別支援教育推進のため、通常の学級における支援員等人的配置による体制づくりを図られたい。

(四) 理科・音楽・体育等の専科教

諭、司書教諭、特別支援教育

コーディネーター等について正規教員の加配や講師・ALT等の人的措置・配置環境の整備を進められたい。

六 学校教育への信頼を一層高めるために、教職員の資質向上を図る施策を講じられたい。

(一) 学習指導要領の基本理念である社会に開かれた教育課程、カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善等の実現に向け、教員研修制度の充実を図られたい。

(二) 教員の免許更新制については、「学校における働き方改革」の観点も踏まえ、抜本的な見直しを図られたい。

(三) 大学の教員養成課程と学校現場での育成を連携させたプログラムを作成するなどして、実践力を備えた若手教員の育成を図られたい。

(四) 若手教員育成のため、優秀な能力を持つ退職教員を活用す

る体制の整備を図られたい。

(五) 教員を志す優秀な人材を確保するため、管理職・教職員の人的条件整備や処遇の改善を図られたい。

七 豊かな心や健やかな体の育成に向けた教育を充実させるための施策を講じられたい。

(一) いじめ・不登校等、児童生徒のかかえている諸問題の解決に向け、教育支援センター(適応教室)等の整備促進、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの全校配置を進められたい。

(二) 情報社会におけるモラルやマナー教育を充実させるための施策の推進を図られたい。

(三) 人権教育を充実させるための施策の推進を図られたい。

八 学校の教育活動が円滑に行われるようにするため、施設・設備・教材等の整備・拡充を図る施策を講じられたい。

(一) 今後、小学校の学級編制の標準が三十五人に引き下げられ

ることに伴い、教室増が予想

されることから、学校の新築・増築等に係る国による補助率を引き上げられたい。

(二) 非構造部材も含めた学校施設の耐震改修の早期完全実施を図られたい。

(三) 特別支援教育充実のための「合理的配慮」を支える基礎的環境整備を推進されたい。

(四) 学校図書館の活性化を進め各教科等での言語活動や読書活動等を一層推進するために、図書費等の予算措置の充実、学校司書の配置促進を図られたい。

九 学校、家庭、地域が一体となつて教育を推進するために、家庭や地域の教育力充実に向けた施策を講じられたい。

十 教育の機会均等を保障するために、へき地・小規模校の教育をさらに充実させる施策を講じられたい。

十一 全国の教員が安心して教

めに、年金制度や教員の処遇や維持・改善を図る施策を講じられたい。

全日本中学校長会

全日本中学校長会は、主体的に課題解決に取り組むことのできる、将来を担う逞しい人材、有能な人材を育成する使命を担っております。その使命を全うするためには、我が国の計画的な教育行政を進める必要があるものと考え、学校教育に関わる項目が重点的に措置されるよう、国に次のような対応を強く求めます。

1. 第7次教職員定数改善計画以降、16年もの間改善計画がないことから、国は、新たな教職員定数改善計画を策定し、計画的に教育の質的向上を図ること。

2. GIGAスクール構想実現のための人的支援、通信環境整備等の充実、いじめ・不登校・虐待対応等の推進、貧

困等に起因する学力課題の解消、「チーム学校」の実現に向けた学校の指導体制の基盤整備等について適切な加配措置を講じること。

さらに、全日本中学校長会は、令和3年度総会の決議に基づき、中学校教育に課せられた使命を果たすため、当面する重要な「文教関係立法・予算措置等」について、左記の通り要望します。

◎義務教育制度の根幹を維持し、国の責任を明示する証として、今後とも「義務教育費国庫負担制度」を堅持するとともに、全額国庫負担化の早期実現を強く求めます。

◎教育界に優秀な人材を確保し、教育の質を高め、日本の将来を確たるものにするためにも、「人材確保法」を堅持し、教育の専門職にふさわしい給与・待遇とするために「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置

法」等の改正に向けて適切かつ迅速に対応されることを強く要望します。

◎新学習指導要領の着実な実施と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築等の観点から、平成23年4月に公布・施行された「義務標準法の一部を改正する法律」も踏まえ、授業時間数や学習内容及び教職員定数の改善を、早急かつ迅速に対応されることを強く要望します。

1 緊急を要する事項
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による教育格差を生じさせないための措置
(2) 被災地における義務教育諸学校の教育活動充実への人的・財政的支援の継続
(3) 教科書無償給与制度の堅持
(4) 義務教育費国庫負担制度の堅持及び全額国庫負担化の実現
(5) 人材確保法の堅持及び人材確保法に基づく優遇措置につい

ての適切な対応
(6) 義務標準法の一部改正による35人以下学級の中学校までの拡大
(7) きめ細かで質の高い教育の充実のため等、様々な教育課題に対応するための加配措置
2 早期実現を要する事項
(1) 新学習指導要領の着実な実施と学校における働き方改革のための教職員配置・定数の充実
(1) 少人数教育や特色ある教育の推進及び様々な教育課題に対応するための教職員配置
(2) 教諭・養護教諭・栄養教諭（職員）・学校事務職員等、教職員定数の拡充
(2) 管理職・教員の勤務実態を踏まえた給与体系の構築及び待遇の改善
(1) 勤務実態に見合った教員給与体系の構築及び待遇の改善
(2) 校長・副校長・教頭の管理

職手当及び退職手当の改善
 (3)特別支援教育の推進体制の整備

①通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒のための人的措置

②免許所有者や専門的知識を有する教職員の計画的な養成と配置

(4)豊かな心と健やかな身体を育むための条件整備

①いじめを含む問題行動や不登校生徒への指導に関わる事業の推進

②部活動指導に関わる諸条件の整備

(5)生徒の安心・安全に配慮した施設・設備の整備

①校舎・体育館の耐震構造化の促進と老朽化への対応

②普通教室及び特別教室の冷暖房の整備

全国特別支援学校校長会

学校内の教育活動に関すること

○学校を牽引するミドルリーダー

1の育成事業の推進

○教員の働き方改革の推進と教員が子供に向き合える時間の確保

○他校種からの特別支援学校の校長任用者への支援も含めた、校長の資質向上を図るための研究・研修活動等の充実

○新学習指導要領の円滑な実施と目指すべき方向の実現のための実践研究の充実

○新学習指導要領の円滑な実施に向けた教育課程や指導方法の工夫改善に関する研修会や研究成果の周知の充実

○特別支援学校に在籍する幼児児童生徒の増加や大規模化(教室不足等)への対応と特別支援学校設置基準の策定

○幼児児童生徒が減少している障害種別等や学校の学習集団の確保や教員の専門性維持のための施策等の検討

○多様な専門職の配置と活用の推進(特別支援学校の専門性の向上を図るため言語聴覚士、

作業療法士、理学療法士、公認心理士、手話通訳士等の人材を特別支援学校に配置するための経費の充実)

○教科書デジタルデータの活用

○教材書デジタルデータの活用した教育支援の充実

○小学部における教科担任制の導入など小中学部の教科学習の充実

○Society5.0時代の到来における遠隔教育の推進などに向けたICTの環境整備や先端技術の効果的な活用による特別支援教育の充実

○特別支援学校におけるプログラミング教育の充実に向けた取組の開発や特別支援学校版GIGAスクールの構築

○特別支援学校におけるESD取組モデルの開発

○各校における自立活動の指導の充実や「自立活動」の指導の研修の充実など特別支援学校の教員の専門性向上のための研修プログラムの開発

○特別支援学校の教員の専門性向上のため全国の研修大会や大学での研修への参加が容易になるような機会の保証、経費提供等の制度の充実

○教員養成大学における特別支援学校の教員養成のあり方の検討・充実

○視覚障害や聴覚障害の特別支援学校教員免許状が取得できる大学の拡大

○全ての特別支援学校の教員の特別支援学校教員免許状取得の義務化

※全国高等学校長協会は、7月末日現在、令和4年度の要望書は未定とのことで、掲載しませんでした。





「二水クラブ」の

活動状況について

熊本県公立高等学校等退職校長会

事務局長 坂本 弘史

熊本県公立高等学校等退職校長会（以下、二水クラブ）は、平成30年度に熊本県退職校長会から離れて単独で全連退に加入いたしました。現在、会員数は450名を超える組織となっております。

本会は、会員の親睦と福祉の増進を図り、併せて本県教育の振興に寄与することを目的として活動を展開しています。活動としては、年3回（4月・12月・3月）の役員会、5月の「総会及び懇談会」、1月には「現役校長との情報交換会」を開催しています。また、会誌「二水クラブ便り」を毎年発行しています。総会での決定事項や会員の近況報告、叙勲受章者や傘寿

者からの寄稿及び会員談話等を掲載しています。特に、近況報告には、会員それぞれの現在の状況や思いも書かれていて、毎年心打たれるものがあります。

さらに、隔年ごとに、「会員名簿」も発行しています。他にも、米寿者には、各家庭に赴いて全連退から送付される「賀詞」の伝達式を行い、傘寿者には記念品を贈り、お祝いします。

このような活動を行っていますが、新型コロナウイルスの影響で、二年続けて「総会」等の会合は中止となりました。日ごろ会えない同僚や先輩方と接する数少ない交流の場として、会員はこの会を毎年楽しみにしています。来年度は開催できるところを願っています。

今後も、会員相互の親睦を深めるために、交流の場を大切に、熊本県退職校長会とも連携しながら、魅力ある「二水クラブ」になるよう取り組んでまいります。

つながる喜びを求めて

支部活動

山口県退職校長園長会

会長 田中 淳夫

山口県退職校長園長会が取り組んでいる活動の一つに「学校支援、地域貢献活動」があります。

県下20支部でそれぞれ特色ある活動を展開しています。コロナ禍の中でも児童生徒と地域の方皆さんとつながる喜びを求めて活動しています。

○学校支援活動

（多くの支部が実施）

☆小学校支援

・算数・国語の個別指導

・庭木の剪定、草取り

☆中学校支援

・数学・英語・理科等の個別指導

・面接指導（夏季休業中）

・庭木の剪定・草刈り

★参加した会員の声

「子どもたちに先生と呼ばれ

る喜びと責任を久しぶりに感じた。」

「小学校の教育に携わった者として、外国語指導、プログラミング指導など教育内容の変化に対応できるように、日学ばなくては・・・」

○地域貢献事業

☆夜の見守り活動（岩国支部）

☆登山道の整備（大島支部）

☆花壇の整備（玖西支部）

☆こどもハウス（新南陽支部）

☆八代のツル保護活動（周南徳山支部）

☆旧山陽道の整備（山口支部）

☆隠れジオサイト巡り（美祢支部）

☆郷土の史跡巡り（下関支部）

☆松陰神社の清掃（萩支部）

★参加した会員の声

「ツルの家族が増え、子どもたちもすっかり学習し、観光客の楽しんでくれていることを確認し、皆さんと一緒に取り組むこの活動を誇りに思う。」

どんな手を打ったら

いいのかな

静岡県退職校長親和会

会長 大塚 哲雄

全連退の理事会や総会に参加し、各県が会員数の減少、それに伴う会費の逼迫が深刻なものだと感じた。

この原因が児童数の減少と学校統廃合によるもの、さらに再任用制度により60歳定年が先に延ばされていくことによるものだということが考えられる。中途退会者や退職時の入会拒否もあると聞く。

三年前私の会長就任挨拶で「入ってよかった親和会。続けてよかった親和会」と言われる会にしたいと、どこかで聞いた文言のアナロジで話した。

本県は各支部（20支部で構成する）の支部長と事務局長の努力のおかげで会員数はわずかずつであるが増えている。しかし、これに甘んじて従来通りの運営を続けたら、いつの日にか会員

数減少の憂き目にあわないとも限らないとの危機感から正副会長会で協議した結果「あり方検討委員会」を立ち上げることに

なった。委員には東部・中部・西部の理事の中から互選で二人ずつ計六人を選任した。委員会は各支部の提言や実態、課題から執行部が検討事項を諮問し、

それに対し検討委員会が答申するという審議形式にした。すぐに実施できること、時間をかけて調査研究すべきことに分けて表題の「どんな手を打ったらいいのかな」と協議してもらう。検討結果は最終的には総会の議決を経て実践される運びになる。

私達退職校長親和会は執行部の意志を各支部が実行する上意下達組織ではなく、各支部の活動が基本になる共同体であるという基本的認識のもとに運営されてきた。今後もこれを踏襲し『明日の夢 その芽を伸ばす親和会』という目標を掲げ、活動していく。

丑年の牛歩

栃木県連合退職校長会

会長 新沼 隆三

長引くコロナ禍の下での、思いついた三密防止策による総会の実施も、願わくば二、三年続きの書面表決となった。

思い起こせば、一年前の今ごろは、「関東甲信越地区研究協議会栃木大会」実施の是非の最終局面。「中止」という苦渋の選択に至ったが、本県の次の開催年次は、あまり年数を置かないで実施できるよう、今後の議論の場を待ちたい。

さて、本県では近年の労働の長期化・高齢化も踏まえ、「本会の存在意義とその見える化」の視点から、「運営の基本方針と努力点」の見直しに昨年度から着手している。諸会議等の実施が困難な状況下、その進捗には厳しいものがあるが、検討段階等も含めその概要を以下に示しする。

基本方針の柱は、「学校支援活動の組織的取組の推進と教育

行政等との連携強化」「生涯学習の場・機会の拡充と魅力ある福利厚生事業の構築」「事務・事業の合理化と入会促進に係る啓発活動の充実」「調査・広報活動の改善充実」の四点。主な実践（検討中を含む）は、

①「全連退」の国への要望事項をベースにした、本県の実態と今後の在り方等を協議する「県教委との教育懇談会」（昨年度は中止）

②学校支援等、ボランティア推進に係る県・各地区の団体登録（検討）

③各地区・関係団体等の研修事業への相互乗入れやオプザーバー参加（昨年度は中止）

④相互扶助のシンボルの事業となり得る被災会員への支援策（検討）

⑤会員のボランティア活動実態調査の実施（検討）等である。検討課題について、本会常任理事・理事等の英知を結集し、成案に着実に繋げていきたい。

存在意義の再構築は、本会の発展・充実の試金石である。

令和3年度 常任理事、部員、委員等役割分担一覧

(順不同、敬称略)

会長 入子 祐三

◎常任理事

部・委員会	部長・委員長	部 員 ・ 委 員
総務部	◎田中 昭光	◎荻原 武雄 ◎岡野 仁司 ◎村山 忠幸 ◎三上 裕三 ◎橋本 誠司 ◎藤崎 武利
教育振興部	◎荻原 武雄	河原 敏子 滝沢 利夫 巖岩 正子 馬場 喜久雄
生涯福祉部	◎岡野 仁司	荒井 忠夫 鴻田 好道 川名 葉子
広報部	◎村山 忠幸	阿部 邦幸 永井 洋子 久富 美智子
会計部	◎三上 裕三	◎新沼 隆三(栃木) 川和 誠一
教育課題委員会	◎橋本 誠司	梅村 勝 堀内 比佐子
事業委員会	◎藤崎 武利	齋藤 とも子 新藤 久典
事務局	事務局長：川井 仁 佐々木 多美子	

地方の会報紙より



福島県公立学校退職校長会

「松風」第179号

へたでいい、へたがいい

東百川支部 山口 彌代

習字の小筆を長くしたような
絵手紙専用の筆で、全身全霊を
こめて一線一線ゆっくり線を引
く。その線は、太かったり細か
ったり時には途切れたりする。
それでも、ゆっくり引いた線は
何ともいえない温かみと息づか
いが伝わってくる。そこに、短
い言葉が入ると絵手紙の誕生で
ある。

絵手紙に興味関心を持ったの
は、現職の頃だったがなかなか
描く余裕がなかった。退職して
からはNHKの絵手紙講座があ
ると参加し、線の引き方、顔彩
の染め方、対象物の視点の取り
方などを習った。

絵手紙は、描いたら友達や身
内の方などにお便りとして出す。

絵手紙の交換が縁であちこちに
仲間ができ、互いに励まし合っ
たり、優しい言葉で元気をもら
ったりしている。

いつまで絵筆で線を引けるか
分からないけれど、たとえ形が
いびつでも心が届いて喜んで
らえたら、「へたでいい、へた
がいい」ということになるのか
もしれないと思っている。私に
とって絵手紙は宝物である。



秋田県退職校長会

「会報」第96号

「墓地巡り」

能代市山本郡 竹内 秀樹

退職後、墓地を訪ねる旅が多
くなった。例えば、著名人が多
く眠る東京の谷中、染井、雑司
が谷の各霊園。また、江戸時代
の小塚原刑場での刑死者を埋葬

朝陽第二小との交流、県民交流センター大ホールでの創立120周年記念式典学習発表会など、今年お色褪せない様々な行事・活動を地域の支えで実りあるもの

学校が変わるには、きっかけが必要である。そのきっかけをつくったのがあの日の雷鳴と小雨降る中での協働であったと改めて思っているところである。



茨城県退職校長会

「会報」第117号

雑感

土浦支部 中泉 光雄

「おはようございます」「ありがとうございます」何と響きのよい言葉だろうか。県が主体となつて、高校生をはじめ、各団体が参加し、駅頭で、「あいさつ運動」が繰り返されてきた。今年も、新型コロナの影響か？何とも寂しい感がある。

ところで、街では、コロナ、クラスター、ロックダウン等の文字が見聞きされる。学校教育

にしてもしかり。プログラミン

令和の日本型学校教育でも、必要不可欠なもの（流行）であろう。故に、先の「あいさつ運動」に見るように、日本語のよさ（不易）を相容れられる世、子どもになつてほしい。



岐阜県退職校長会

「彩雲」第196号

「ばら教室KANI」

の子どもと共に

可児支部 若原 俊和

「ばら教室KANI」で外国にルーツをもつ子どもに関わって二年になる。日本語がまったくわからない、文化や習慣も違うというつらさや苦しきは、想像

以上のものがある。日本に来た

「言葉に心をふるわされる。」「今までは、できないと言えなくて、無理をしていました。ばら教室では先生ができませんと言っていたよと教えてくれました。だから、僕は楽になりました」(小五)

言葉や文化がわからないから間違えることを怖がっている。「知らないことや間違えることは恥ずかしいことではない」と背中を押し続けたことが伝わった瞬間であった。「自信と夢」をもって生きてほしい。コロナ禍で彼らが生きる社会はますます厳しくなるだろう。しかし、彼らの価値観や視点は、違いを超え、笑顔で安心して生活できる社会を築く礎になると強く信じている。



埼玉県退職校長会

「会報」第171号

『日日是好日』

久喜 稲葉 勇夫

茶室に入ると床の軸が『無事は吉祥』に替わっていた。「今年も一年何事もなくお稽古ができたな」と思いながら水屋に入つて稽古の準備をする。やがて先生が茶室に入り、弟子は躡って入り一礼をして稽古がはじまる。

私が茶道を始めて13年になる。最初の頃は一つ一つの所作が全くできず、稽古の度に注意されていた。あるとき、先生に「いつも指導している校長先生が指導される気分はどうですか」と言われ、返す言葉がなかった。「日頃から相手のことを考えて接しなさい」と見透かされていくように感じたからである。

薄茶のお点前に慣れると、釜が「炉」から「風炉」に替わり、薄茶に加えてより複雑な濃茶の

稽古も始まった。その上、小棚、大棚を用いた所作、唐物扱いの所作と、新しいことが加わってお点前が複雑になり、稽古を休みたいと思うこともしばしばだった。

しばらくすると、所作にもだいぶ慣れお点前をしながら鳥や虫の声、雨や風の音を感じるようになった。しかし、先生からは帛紗の折り方、茶杓の持ち方など基本的なことを注意されるようになった。所作が雑になっ

ていたのである。「初心を忘れずに」と指導することがあったが「そっくり自分に返ってきた」と思うとともに、「お茶の稽古は死ぬまで」という先人の言葉を思い出した。

年に何回か大寄せの茶会が開かれる。先生が席主になると、弟子は交代で薄茶を点てることになる。30人程の客の前でお点前をする機会が何回かあり、練習を繰り返し臨んだ。研究授業以上に緊張し、柄杓のお湯を零しそうになった。何とか終えると先生から「よくできたわよ」

と言葉をいただいた。年をとっても褒められるのはうれしいものである。これも茶道を続けてこられた理由の一つだと思っている。

今年にはコロナ禍で無理だったが、友達を家に招きお茶を点てることがある。気の合った仲間と、茶を介し時間を共にする。定年後、仕事や時間に束縛されないからこそできるささやかな楽しみである。

そんなとき、家の床には『日は好日』を掛けることにしている。



福岡県退職小学校長会

「会報」第120号

「オカリナ」に魅せられて

築上郡支会 亀田 悟

二十年前、定年退職してすぐ旧椎田町中央公民館に勤めました。当時主催事業の一つに町民大学講座があり、オカリナ教室を設けて欲しいという要望があり、講師を探して開講しました。私自身オカリナに興味を持って

いたのですぐ受講生の一員になりました。

三年後、町民大学から独立。グループ名を「オカリナ奏ディアン」として活動を始めました。

町民文化祭、京築ふるさと芸能祭り、行橋今川河畔の「桜祭り」等町内外の行事に出演。また近隣の社会福祉施設への訪問演奏も行っています。唱歌「ふるさと」や「荒城の月」等昔懐かしい曲を演奏すると、口を大きく開けて歌い喜んでくださる姿に私たちがたくさん力をいただいています。

会を続けていくためには、互

いの技術の向上は勿論、楽しい会であり続けることも大切です。毎年三月には我々だけの定期演奏会を、一月には手作りのニューイヤーカーンサートを聞き、演奏を発表し合うとともに楽しく会食しています。

平成24年には創立十年記念、平成29年には、創立十五周年記念コンサートを開催し、多くの方々に応援していただきました。オカリナのどこか懐かしい？

土の香りがする優しい音色に魅せられて十八年、これからも會員一同心を一つにして活動を続けていきたいと思っています。



ニューイヤーコンサートのパンフと愛用のオカリナ



「オカリナ奏ディアン」10周年記念コンサート 椎田コマーレにて

五反田だより (事務局)

最近足腰の衰えを少しでも遅くしようと考え、その一つとして毎日40〜60分のウォーキングをしている。先日、散歩の途中で、ある寺院の掲示板に「出会いは道を創る」という文を見つけた。散歩を続けながらその言葉を考えた。

私がA校長先生に出会ったのは、私が40代の中頃だった。私の勤務先の学校に着任されたA校長は、私に管理職試験を受けるように強く勧めた。それまではその気が全くなかった私は固辞したが、その意気に押されて受験した。A校長の優しい指導もあり、何回かの受験を通して私は管理職のあり方や役割を学んでいった。数年後に教頭試験に合格して、管理職の道に進んだ。

私は、校長として、全ての先生方に気配りをするA校長をい

つもお手本として考え、何か事が起こった時に、こんな時はA校長ならばどう対応するだろうかと考えながら対応していった。11年間の管理職経験を通して、管理職としての責任感と共に充実感も味わうことができた。A校長との出会いが私に新しい道を創り出してくれたのだ。

嘱託として5年間、教育センターで勤務した後はのんびりと暮らそうと思っていた。そんな時にある会で久しぶりにA校長にお会いした。私の現況をお話したところ、「そのうち手伝ってもらいたい」といわれた。しばらくして、「全連退の部員として勤めないか」という話を頂き、本部で手伝いをするこ

とになった。爾来十数年、その仕事を続けている。この出会いもまた私に新しい道を創ってくれたのだ。出会いはこれからも大切にしていこうと考えている。

(MT)

本部活動報告

◇7月

16 部長会 「文部科学省・厚生労働省・総務省への要望書」提出について
「行事予定の変更」について

◇8月

3 「全国連合退職校長会・組織団体役員名簿」の各退職校長会への送付
6 文部科学省への要望書提出。厚生労働省・総務省への要望書郵送
26 教育課題委員会
30 広報部会

◇9月

6 教育振興部会
10 広報部会
10 部長会 「今後の活動及び日程」についての検討
13 広報部会
21 教育課題委員会
24 事業委員会 「令和三年度 都道府県退職校長会概要集」の作成

編集後記

○新型コロナウイルス感染症問題が未だに収束していない状況が続いております。不要不急の外出を自粛せざるを得ない毎日ですが、皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

○今年も、全連退として、総会をはじめ多くの行事・会合等が中止になりました。各都道府県の退職校長会も大変苦労されていることが、都道府県だよりからも読みとれます。

○今回も、地方の会報紙から多くの文を掲載しました。ぜひご一読ください。

全連退会報 (221号)

発行 令和三年九月三十日
発行所 東京都品川区東五反田 五二一―三三三〇八
全国連合退職校長会
電話 〇三三四四二八七六八
FAX 〇三三四四二八七六八
Email: info@zententai.org
振替口座 〇〇一九〇九四四七二〇
○責任者 入子 祐三
印刷 株式会社 信行社
電話 〇三三四三三三六二二